

あした元氣になあれ

平成23年
1月15日

43号

唐松岳より望む瑞雲

年頭にあって

病院長 竹前紀樹



新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。長野市民病院は、昨年6月をもちまして開院15周年を迎えました。これもひと

えに市民の皆さまや長野市医師会、地域医療機関、保健・福祉関係、信州大学医学部、ボランティアはづきの会、長野市当局等多くの皆さまのあたたかいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

当院は、近年、400床への増床を含む増改築事業を始めとして、一層の機能充実を図りました。施設面では、24時間365日対応の救急センターや長野市医師会と協働の夜間初期救急の急病センターの開設等の整備がなされ、診療面では、がん治療や救急医療等の急性期高度医療に注力し、地域のかかりつけ医等との連携を推進してまいりました。その結果、新入院患者数、救急患者数及び救急車搬送数の大幅な伸びが示すように、地域の高度で安全・安心の医療の拠点としての役割を果たし、また、「地域がん診療連携拠点病院」の指定更新、さらに平成22年9月に「地域医療支援病院」、23年1月に「臨床研修評価」の認定がなされたことで、地域の中核病院として確固たる評価を得るに至りました。

平成23年は、2月からの全病棟フル稼働や3月から4月にかけての電子カルテを含む医療情報システムの更新等により、さらなる診療機能の充実を図るとともに、医療の質向上及び効率化に邁進し、地域の中で「選ばれる、頼られる病院」を目指します。

本年も、チーム医療を通して『高度・良質・安全』、『命のいとおしさを大切に、人間味あふれる』医療の提供に努め、干支のうさぎにあやかり大きく飛躍できますよう、職員一同、日々研鑽してまいりますので、皆さまの変わらぬご支援をお願い申し上げます。年頭の挨拶に代えさせていただきます。

INDEX 2011. 1.15 No.43

- P1 ● 年頭にあって
- P2 ● 一年に1回は、健康診断をしていますか？
- P3 ● 知っておきたい医療の知識(内分泌・代謝内科 西井先生)
● 市民健康講座のお知らせ
- P4 ● 臨床研修病院評価認定取得
- P5 ● 糖尿病イベント
● 平成22年主な出来事
- P6 ● 登録医紹介 ● みなさまの声 ● ご寄付のご紹介
- P7 ● 「信濃の郷土食」～行事食より
● 医師・看護師等募集案内
- P8 ● 外来診療担当日一覧 ● 医師人事異動



長野市民病院の理念

1. 命のいとおしさを大切に、人間味あふれる医療を提供します
2. 医療水準の向上に努め、高度で良質、安全な医療を提供します
3. 個人の人権と意思を尊重し、情報の開示、説明と同意を基本とする医療を提供します
4. 地域の保健、医療、福祉機関等との機能分担に配慮し、円滑な連携を図ります

地域がん診療連携拠点病院

地域医療支援病院

臨床研修病院

病院機能評価認定病院

一年に1回は、

健康診断をしておりますか？



みなさんは、日々健康に生活していくことを願い、食事や運動、その他いろいろな工夫をして健康管理に取り組みられていると思います。

病院に来る目的としては、風邪を引いたときの治療から重篤な病気の治療にいたるまで、主として病気の治療を目的に来院されていることが多いと思います。このように「病気になってから治療を行うこと」を「治療医学」と言います。

一方で、「病気になるらないように日ごろから予防する」という考え方に基づく医学を「予防医学」といいます。

予防医学の一つとして位置付けられるのが人間ドックや健康診断です。

予防医学は、著しく高齢化が進展する日本社会において、医療費の支出を抑制するために、そして、健康保険料の負担増を抑制するために、近年、特に注目されるようになってきました。その流れのひとつとして、国主導で平成20年4月から開始された特定健康診査（メタボリック健診）・特定保健指導があります。これは、まず、特定健康診査（メ

タボリック健診）により、将来、生活習慣病になるリスクの高い方をスクリーニングにかけ、階層化を行います。そして、その対象者に保健師等が保健指導を実施し、生活習慣の改善に取り組みようサポートすることにより、将来生活習慣病にかかるリスクを減少させ、医療費の抑制を目指すという制度です。

市町村、健康保険組合、共済組合等の保険者は、この特定健康診査の受診率を高めることが義務付けられています。この受診率を上げるために各保険者においても、いろいろな



補助制度が設けられています。（詳細は、市町村窓口、健康保険組合、共済組合等に確認ください。）

皆さんもこのような制度を利用して年に1回は健康診断を受けてみてはいかがでしょうか。

長野市民病院の健診センターは、平成19年の4月に健診専用施設としてリニューアルしました。現在は、日帰り人間ドックを中心に協会けんぽ管掌生活習慣病予防健診、労働安全衛生法上の条件を満たした企業健診、特定健康診査・特定保健指導を実施しております。

特に、日帰り人間ドックにおいては、最新の機器で体全体にわたる詳細な検査を行います。さらに、オプション検査としてがん検診を主体としたより詳細な検査を選択いただくことが可能です。

また、人間ドックの結果、何らかの異常が発見された場合、保険診療により、速やかに二次検査を行いフォローする体制をとっております。

皆様も、年に1回は人間ドックで健康チェックを行い、健康で生き生きとした日々をおくりましょう！！



お問合せ

長野市民病院
健診センター

026-295-1171
月～金(祝日除く)
9:00～16:00



がんの予防とがん検診について

がんの予防については、国立がんセンターの日本人のためのがん予防法がとても参考になると思います。①タバコをすわない、他人のタバコのけむりも避けるということです。タバコは受動喫煙であっても肺がん、食道がん、口腔咽頭がんの危険因子であることがわかっています。②酒は百薬の長といいますが、飲みすぎると、がんの危険が上昇することが言われています。食道がんはアルコールが危険因子であることがわかっています。③食事をバランスよくとることが重要です。塩分は胃癌の危険因子であることは意外に知られていません。また加工肉（ハム、ベーコン）、赤肉（鶏肉は含まない）は大腸がんの危険因子であることも意外に知られていません。④運動をすることで大腸がんの危険を減らすことがわかっています。⑤肥満、やせは、がんになりやすいといわれています。⑥肝炎ウイルスなどのウイルスの感染状態を知っておくことも重要です。

また受けてくださいといいいながら、こんなことを言うのは恐縮なのですが、限界があることも知っていただきたいことです。すべてを100%やることはできません。医療費もかかりますので、効率よくやってみることも大切ですが、大切なのは、検診を積極的に受けることです。健康に役立つようなドックを行うという原点を見失わないことが、良質なドック（任意型がん検診）の質を維持することです。

がん検診は市町村でおこなっている対策型がん検診と、人間ドックでおこなっている任意型がん検診にわけられることをまず知りましょう。どちらのがん検診でも、まず受けていただくことが大切です。いずれの検

診も日本では受診率が20%ととても低いのが問題となっています。英国、米国、韓国でも80%近くの人が受診しています。

日本人のためのがん予防法 —現状において日本人に推奨できる科学的根拠に基づくがん予防法—

喫煙	たばこは吸わない。他人のたばこの煙をできるだけ避ける。
飲酒	飲むなら、節度のある飲酒をする。
食事	食事は偏らずバランスよくとる。 *塩蔵食品、食塩の摂取は最小限にする。 *野菜や果物不足にならない。 *加工肉、赤肉（牛・豚・羊など）はとり過ぎないようにする。 *飲食物を熱い状態とらない。
身体活動	日常生活を活動的に過ごす。
体型	成人期での体重を適正な範囲に維持する（太りすぎない、やせすぎない）。
感染	肝炎ウイルス感染の有無を知り、感染している場合はその治療の措置をとる。

第11回 市民健康講座

日時 平成23年3月5日（土）
14:00開演（13:00開場）
会場 若里市民文化ホール（ビッグハット隣り）
長野市若里三丁目22番2号

第1部 がん検診とがん予防

「がん検診とがん予防 —最近の動向—」

【講師】長野市民病院 内分泌・代謝内科部長 西井 裕 医師

第2部 食道がんの診断と治療

「食道がんの診断と内視鏡治療」

【講師】長野市民病院 副院長兼消化器内科部長 長谷部 修 医師

「食道がんの外科治療と化学放射線療法」

【講師】長野市民病院 副院長兼外科・消化器外科部長 宗像 康博 医師

入場無料
申込不要



第10回市民健康講座(平成22年5月)の様子

【お問合せ先】長野市民病院 事務局 電話 026-295-1199

卒後臨床研修評価機構による

評価認定を取得

医師法の改正により、平成16年度から「医師臨床研修」が必修化（診療に従事しようとする医師は、2年以上の臨床研修を受けなければならない）（医師法から一部抜粋）されたことに伴い、当院では平成16年度から医師の臨床研修を実施しています。

〔医師臨床研修〕・・・大学医学部を卒業して医師免許取得後の2年間に、大学病院もしくは厚生労働省から「臨床研修病院」として指定を受けた病院において、必修とされた診療科等をローテーションしながら医師としての基本的な診療能力を身に付ける制度）



受審の様子



ら、約半年前から本格的な準備にとりかかりました。評価項目は、大きく8領域あり、それが27中項目に分かれており、さらに88小項目に分かれています。その88項目に対して評価が行われ、一定の基準をクリアすると2年間の認定を得ることが出来ます。

当院は「基幹型臨床研修病院」として独自に研修医を採用し臨床研修を実施するとともに、信州大学医学部附属病院の「協力型臨床研修病院」として、信州大学医学部附属病院の研修医も受け入れています。信州大学医学部附属病院の研修医も含めてこれまで約40名の臨床研修医を受け入れてきましたが、臨床研修を開始してから7年目を迎え、より質の高い臨床研修を実施するため、総合的に制度を見直す機会として、11月26日に「NPO法人卒後臨床研修評価機構」による認定評価を受審し、平成23年1月1日付で認定されました。

受審にあたっては、病院長、臨床研修センター長を始め、臨床研修評価委員会、臨床研修センターのメンバーを中心に全職員の協力を得なが

受審当日は、サーベイヤールが4名訪れ、朝から書面調査、午後からは部署訪問による調査や研修医へのインタビュー等と続き、ほぼ終日にわたって審査が行われました。

受審の最後にサーベイヤールから講評をいただきましたが、主な指摘事項は、「さらに地域との連携を広げて取り組んでほしい」、「研修医が委員会等に参加し意見が言える機会を増やしてほしい」、「研修医の声が病院長に直接届くような位置付けや仕組みを検討してほしい」、「規程等の明文化をさらに進めてほしい」等があり、今後の取り組みに生かしていきたいと考えます。一方で、「研修医を育てよう」という思いはよく伝わってくる」、「研修医の側も後輩に勧めたい病院」と感じている

等のコメントをいただき、指導医・上級医をはじめ他職種の指導者も含め、日頃の研修医への指導全般に対しては高い評価をいただきました。今回の受審を通じて、今後の課題も明確になりましたので、よりよい臨床研修が実施できるよう今後も取り組みを進めてまいります。



講評の様子

「世界糖尿病デー」イベント

糖尿病が世界中で健康に対する脅威になっているのを受け、2006年の国連総会によって毎年11月14日が「世界糖尿病デー」と指定されました。この日には、世界各地で糖尿病の治療と予防を呼びかけるキャンペーンが展開され、世界糖尿病デーのロゴであるブルーサークルにちなみ、ブルーライトアップイベントが行われています。こうした中、当院でも11月12日から

14日までエントランスホールでブルーライトアップを行い、糖尿病への注意喚起と糖尿病対策への取り組みを呼びかけました。



また、当院ではこの世界糖尿病デーにちなみ、毎年11月に特別イベントを開催しており、今年も11月27日(土)に「これなら続く運動療法」と題し、運動コーディネーター松井浩先生をお招きし、運動療法講演会を開催いたしました。当日は約40人の方が参加されましたが、エネルギー消費の仕組みや実際の体の動かし方などをユーモアたっぷりにお話しいただく講演内容に、満足されている様子でした。このイベントは、毎年続けていきますので、皆様も是非ご参加ください。

また、当院ではこの世界糖尿病デーにちなみ、毎年11月に特別イベントを開催しており、今年も11月27日(土)に「これなら続く運動療法」と題し、運動コーディネーター松井浩先生をお招きし、運動療法講演会を開催いたしました。当日は約40人の方が参加されましたが、エネルギー消費の仕組みや実際の体の動かし方などをユーモアたっぷりにお話しいただく講演内容に、満足されている様子でした。このイベントは、毎年続けていきますので、皆様も是非ご参加ください。



世界糖尿病デー特別イベントの様子

平成22年 長野市民病院の主な出来事

平成22年を振り返り、主な出来事を紹介いたします。

◆ 入退院センターを開設する (1月)

入院されるみなさまが安心して病院を利用していただけるよう、入退院センターを設置しました。

◆ 地域がん診療連携拠点病院の指定継続 (4月)

当院は厚生労働省より地域がん診療連携拠点病院の指定を受けておりましたが、新しい整備指針に基づき指定継続となりました。

◆ 長野市民病院が15周年を迎える (6月)

長野市民病院は平成7年に開院し、本年度で15周年を迎えました。記念講演会、病院祭、記念誌の発行等さまざまな行事を行いました。

◆ 出前講座 長野県知事より表彰を受ける (6月)

地域住民との交流と保健衛生の啓発活動を目的とした「出前講座」という出張講座を行っておりますが、その功績が認められ、長野県知事より県知事表彰をいただきました。

◆ 新放射線治療システムの稼動 (8月)

老朽化した放射線治療装置に代わり、より高度な治療が可能な新放射線治療システムが稼動しました。

◆ 地域医療支援病院として承認される (9月)

長野県知事より、地域医療支援病院として承認を受けました。

◆ 当院ホームページ BHI特別賞を受賞 (10月)

当院ホームページがNPO法人日本HIS研究センターの開催する「第10回ヘルスケア情報誌コンクール」において特別賞を受賞しました。

◆ 診療科が29科となる (10月)

10月1日から放射線科を放射線診断科に名称変更するとともに、放射線治療科を新たに設置し、当院の診療科が29科となりました。

◆ 合同慰霊祭 開催 (10月)

病理解剖を行いました59柱の御霊を慰霊するため、ご遺族をお招きし合同慰霊祭を執り行いました。

◆ 臨床研修病院の評価を受審 (11月)

NPO法人卒後臨床研修評価機構による、臨床研修の評価を受審しました。(平成23年1月1日認定)

いでうら内科クリニック

院長 出浦 正 医師
(長野市大字徳間字中南557-2)



登録医制度による地域医療連携システムが平成15年4月にスタートしてから市民病院へ紹介いただいたり、市民病院から地域の診療所に逆紹介したりするケースが増えています。
なお、登録医の一覧が玄関に掲示されていますので、ご覧下さい。この欄では、日頃お世話になっている登録医の医師を順次紹介してまいります。

院長である出浦正先生のご出身は東御市。幼い頃から体が弱く頻繁に医者にか

かっていたため、教員の家系に生まれながらも自然と医師を志すようになったといえます。

秋田大学医学部をご卒業後、信州大学医学部附属病院など県内外の病院に勤務され、長野赤十字病院では腎臓内科部長を務め腎移植手術にも携わるなど活躍されました。そして2008年5月、透析圏としては過疎地だった長野市東北部の徳間にこのクリニックを開業されました。

「腎疾患は疾患が多岐にわたるため、体の一部だけを診れば良いというものではなく、幅広い知識が必要となります。そのため、腎臓内科を専門としながらも全身のあらゆる疾患に精通していなければならぬので、内科全般を診察することが可能です。」と、なんとも頼もしいお言葉をお聞かせいただきました。さらに、「当院では人工透析にとどまらず、患者さまの生活をトータルしてサポートした

いと考え、管理栄養士による食事指導を実施しています。これは診療所としては珍しいことではないでしょうか？また、過去の経験から、腎移植に関するセカンドオピニオンも可能ですので、お気軽に御相談ください。」

「全身管理」が必要な腎臓内科の先生らしい、広い視野をお持ちの出浦先生。そんな先生のご趣味は映画鑑賞や観劇だそうです。「人工透析を扱っているのです、どうしても長期の休みはとりづらくて…」とおっしゃいながらも、「昔はバイクが好きでよく乗っていました。学生時代の夏休みに北海道の大地を走ったことを思い出します。」というお話から、先生のアクティブな一面も垣間見ることができました。



みなさまの声

市民病院では、開院以来、外来・入院の患者さま、お見舞い等の皆さまから様々なご意見・ご要望をいただいております。

毎月、貴重なご意見を集約して職員に回覧。できるところから改善、検討を加えております。最近お寄せいただいたものの中から選んで紹介します。今後とも叱咤激励をお願いいたします。

◆回答 人感センサーの照明につきまして是最長で点灯するように調整していただきますので、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

看 看護師さんがたくさんおられ、名前がなかなか覚えられません。できるだけお名前を呼んでお話をしたいと思いますが、名札が時計などで名前が見えないので、よく見えるようにしていただきたいです。
(入院患者 男性)

◆回答 ご意見ありがとうございます。各スタッフの名札がきちんと見えるように点検をしていく指示をいたしました。

洗面所の照明が人感センサーになっているのですが、点灯時間の間隔を長くしてもらいたいです。
(入院患者 男性)

貴重なご寄附ありがとうございました！

社団法人生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会長野県協会様より、車椅子8台をご寄附いただきました。総合案内にて使用させていただきます。



『信濃の郷土食』 行事食より

戦国時代、甲斐の国(山梨県)の武田信玄と越後の国(新潟県)の上杉謙信との戦いが信濃国川中島周辺(長野市周辺)でありました。

この時、信越国境の富倉地区の人々が川中島と春日山を往復する上杉謙信たちに送った「笹寿司」は、現在でも長野県の北信地方で郷土食として受け継がれています。

今回は、笹寿司のほか、長野県産の食材を使った郷土料理を組み合わせ、信濃の郷土食として、11月24日、入院患者さまの昼食に提供しました

お名書き

- ・笹寿司
- ・わかさぎと春菊の天ぷら
- ・えご
- ・きのこ汁

「わかさぎ」

旬は冬季で、諏訪湖では9月から3月頃まで釣れます。

「えご」

えごは、北陸から行商人によって運ばれ、塩の道に沿って、海のない北信濃一帯に伝わりました。保存性が高く山国に暮す人々にとって大変貴重な食品でした。

「きのこ汁」

長野県は、きのこの栽培が盛んで、生産額は日本一です。国内生産のえごき茸やぶなしめじの半分は長野県産です。

歴史や文化、知恵と工夫を改めて感じる事ができました。ふるさとの味を大切にしていきたいと思っています。

栄養科 小池泰子



採用情報

●平成23年度の看護師病院見学説明会の日程が決まりました!

4/29(金・祝日)、7/16(土)、8/13(土)

春休み、夏休み期間中の見学、インターンシップをご希望の方は、電話・メールにてご相談ください。

3/5(土)・3/12(土)(東京)、3/19(土)(長野)

院外の説明会に出展します。詳細はホームページをご確認ください。



医師修学資金利用者募集中! (医学部新4~6年生対象)

詳細は病院ホームページをご覧ください。

募集職種	応募条件など	募集人員
医師 後期研修医	詳細は病院ホームページをご覧ください。	数名
看護師	正規職員/有資格者または資格取得見込者。交替制勤務が可能な方。 非正規職員/有資格者。交替制勤務が難しいが8:30~17:15の時間帯で4~8時間勤務可能な方。 前記に関わらず、手術室勤務経験のある方、是非ご相談ください。	各数名
臨床検査技師	非正規職員/有資格者または平成23年資格取得見込者。書類選考あり。	1名
薬剤師	正規職員/有資格者。書類選考あり。	1名
理学療法士	非正規職員/有資格者または平成23年資格取得見込者。書類選考あり。	1名
臨床工学技士	非正規職員/有資格者または平成23年資格取得見込者。書類選考あり。	1名
看護助手	非正規職員/看護補助業務。8:30~17:15(休憩45分)土日勤務できる方。早出、遅出できる方、介護福祉士有資格者歓迎。	数名
事務職員	正規職員/①診療情報管理士②医事課事務員(病院での医療事務従事5年以上) 非正規職員/医師事務作業補助者(電子カルテ代行入力、診断書作成等、医師事務の補助。医療事務有資格者)。	①②は各1名、 ③は数名

●詳細は病院ホームページをご覧ください。
ご不明な点は右記連絡先にお問合せください。

<http://www.hospital.nagano.nagano.jp>

求人専用ダイヤル **0120-511-990**

E-mail: career@hospital.nagano.nagano.jp

長野市民病院

検索

長野市民病院外来診療担当日一覽

救急科：救急センター 8:30から17:30担当医

記号の説明 ○：初診担当 ◎：完全予約制 ☆：午後のみ ◆：紹介のみ ▲：紹介、救急のみ
※：第3金曜日予約のみ ★：第3木曜日のみ

外来診療担当表は、1月1日現在で作成されております。担当医師が変更となる場合はお知らせいたします。お問い合わせください。

診療科	月	火	水	木	金	専門(常勤医)	
内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科 腎臓内科 内分泌・代謝内科	○原悦雄 ○吉池文明 平井一也 越知泰英 立岩伸之 酒井/☆多田井 ○西井裕	須澤兼一 吉池文明 ○市山崇史 梅村武司 ○丸山/☆春日 ○多田井敏治 掛川哲司	関亜矢子 西井裕 ○平井一也 ○越知泰英 丸山隆久 ○笠井俊夫 ○長谷部修	☆稲田浩之 吉池文明 市山崇史 ○立岩伸之 ○春日広一 ○関亜矢子 ○掛川哲司 ★宮林千春	☆西井裕 ○酒井貴弘 ○信大医師 (呼吸器内科) 原悦雄 ○須澤兼一 笠井俊夫 長谷部修	平井一也(呼吸器) 吉池文明(呼吸器) 市山崇史(呼吸器) 長谷部修(消化器・内視鏡) 原悦雄(消化器・内視鏡) 越知泰英(消化器・内視鏡) 立岩伸之(消化器・内視鏡) 須澤兼一(消化器・内視鏡) 関亜矢子(消化器・内視鏡) 多田井敏治(消化器) 丸山隆久(循環器) 笠井俊夫(循環器) 酒井貴弘(循環器) 掛川哲司(腎臓) 西井裕(糖尿病・内分泌代謝疾患) 春日広一(糖尿病・内分泌代謝疾患)	
	小児科	浅岡麻里 野田慶太	池野一秀 浅岡麻里	野田慶太 青沼架佐賜	池野一秀 野田慶太	浅岡麻里 青沼架佐賜	青沼架佐賜(発達・神経・循環器・心身症) 池野一秀(免疫・アレルギー) 野田慶太(小児科一般) 浅岡麻里(小児科一般)
	外科 消化器外科	○成木壮一 ○高田学 沖田浩一 -	○岡田正夫 - ○林賢	田上創一 宗像康博 ○沖田浩一 ○松村美穂	○村中太 ◆宗像康博 林賢	○得丸重夫 関仁誌 ○田上創一	宗像康博(消化器・胃・大腸) 林賢(消化器・肝臓・胆道・痔臓) 関仁誌(消化器・肝臓・胆道・痔臓) 高田学(消化器) 沖田浩一(消化器) 成木壮一(外科) 田上創一(外科) 村中太(外科) 岡田正夫(外科) 得丸重夫(外科)
	整形外科	松田智 南澤育雄 ☆山田誠司 ○藤澤多佳子 ○中村功	- ○下平浩揮 ○信大医師 ▲松田智 ▲南澤育雄	山本宏幸 中村功 山田誠司 ○南澤育雄 ○藤澤多佳子	藍葉宗一郎 下平浩揮 ☆中村功 ○藤澤多佳子 ○松田智	○藍葉宗一郎 ○山田誠司 ○山本宏幸 ▲中村功	松田智(上肢・末梢神経) 南澤育雄(骨折・リウマチ性疾患・股関節) 中村功(脊椎) 山田誠司(関節疾患) 藍葉宗一郎(整形外科) 下平浩揮(整形外科) 山本宏幸(整形外科)
	形成外科	○滝建志 濱ゆき	滝建志 ○濱ゆき	○滝建志 濱ゆき	滝建志 ○濱ゆき	○滝建志 濱ゆき	滝建志(形成外科) 濱ゆき(形成外科)
	脳神経外科 (脳血管内治療科)	○大屋房一 荻原利浩	○荻原利浩 木内貴史	○大屋房一 竹前紀樹	○荻原利浩 大屋房一	○竹前/脳外科医師 (交替制につき、担当 当日についてはお 問い合わせ下さい。)	竹前紀樹(脳腫瘍・脳血管障害・頭痛・三叉神経痛) 大屋房一(脳血管障害・脳血管内手術・脳腫瘍) 荻原利浩(脳腫瘍・脳血管障害・頭部外傷) 木内貴史(脳神経外科)
皮膚科	齋木實 西澤秀治 山岸貴裕	齋木實 山岸貴裕 塚田学	齋木實 西澤秀治 飯島和芳	齋木實 山岸貴裕 塚田学 ◆西澤秀治	齋木實 飯島和芳 塚田学 ※岡根谷利一	齋木實(皮膚科) 西澤秀治(悪性腫瘍・排尿障害・小児泌尿器) 飯島和芳(神経因性膀胱・悪性腫瘍) 山岸貴裕(泌尿器科一般) 塚田学(泌尿器科一般)	
泌尿器科	風間淳 -	風間淳 千葉玲奈	風間淳 黒川徹	風間淳 -	風間淳 -	風間淳(眼科)	
眼科	野村康	野村康	休診	野村康	野村康	野村康(耳鼻いんこう科)	
耳鼻いんこう科	メタストロン外来	橋田巖	休診	橋田巖	橋田巖	今井迅(画像診断・I V R) 藤田巖(画像診断・I V R) 橋田巖(放射線治療)	
放射線治療科	○戸木田怜子 田村稔	○田村稔 戸木田怜子	○戸木田怜子 田村稔	○鎌田孝広 -	○田村稔 戸木田怜子	田村稔(口腔腫瘍) 戸木田怜子(口腔外科)	
歯科・歯科口腔外科	○小平農 ☆山本寛二	山本寛二 ○小平農	小平農 -	○山本寛二 -	山本寛二 小平農	山本寛二(神経内科) 小平農(神経内科)	
神経内科	○境澤隆夫 ○小沢恵介	○有村隆明 西村秀紀	○西村秀紀 境澤隆夫	○有村隆明 西村秀紀	○小沢恵介 交替制	西村秀紀(呼吸器・乳腺・甲状腺) 小沢恵介(呼吸器・乳腺) 有村隆明(呼吸器・乳腺) 境澤隆夫(呼吸器・乳腺)	
呼吸器外科 乳腺外科	○西澤千津恵 -	休診	○森篤 西澤千津恵	○森篤 西澤千津恵	森篤 ○村中愛	森篤(悪性腫瘍) 西澤千津恵(不妊症)	
婦人科	-	◎大道雅英	◎☆大道雅英	◎大道雅英	-	大道雅英(緩和ケア)	
緩和ケア内科	休診	休診	池田三知代	休診	休診	休診	
膠原病外来	坂口治	坂口治	林賢	坂口治	坂口治	坂口治(救急科) 長野市民病院救急センター	
救急科							

お近くの開業医による「かかりつけ医」を持ちましよう。市民病院へ初診で来院される場合、紹介状と事前予約があると待ち時間短縮につながります。

長野市民病院へのお問い合わせ
 〒381-8551 長野市富竹1333-1
 TEL 026-295-1199 FAX 026-295-1148
 長野市民病院・医師会 急病センター
 TEL 026-295-1291
 ホームページ <http://www.hospital.nagano.nagano.jp/>

財団法人 長野市保健医療公社
長野市民病院

■発行人：竹前紀樹
 ■編集：長野市民病院広報委員会



ボランティア募集

詳しくは
 地域医療連携室まで
 TEL 026-295-1611
 (担当：五十嵐、小林)

12月1日付
 *新任
 中澤 遥(臨床研修医)

医師人事異動